



子どもたちに安心を、教職員に健康とゆとりを

新学期が始まって1ヶ月、毎日が目まぐるしく過ぎていきます。尼教組は、新年度にあたって、子どもたちの安心と教職員の健康とゆとりがもてるよう、市教委に申し入れを行いました。安心安全な学校をつくるべく、尼教組は活動します。

みんなの願いを実現する
 尼教組へあなたもごいっしょに



4月教育講座 岡本美穂先生

「子どもたちとの出会いを大切に」

・初担任で2年を持つ者です。連絡帳を使って授業に繋げていくという話なるほどなと思いました！実践したいと思います。

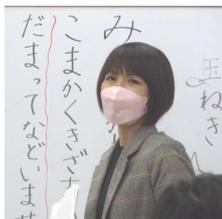
・詩の授業の話が聞けて、とても参考になりました。ありがとうございました。

・模擬授業や、子供たちの動画をみることが出来てとても勉強になりました。とても自信につながりました。岡本先生、そしてこの会を開催くださった皆様、本当にありがとうございました。

オンラインで東京からの参加も

・6年生の担任をするにあたり不安がありましたが、最高学年としての「特別感」を語るという話があり、実践していこうという思いになりました。

・板書の本も出されているので、次回は板書のお話も聞きたいと思いました。



年度始めにあたっての申し入れ

1. 児童生徒に安心を、 教職員に児童生徒と向き合う時間を

- ①授業時数確保を優先するのではなく、児童生徒と向き合う時間の確保を優先するよう指導してください。
- ②昨年度と同様に、教職員の研修や出張を縮小する。行う場合でもオンラインを活用するようにしてください。
- ③自然学校やトライやるウィークについては、5日間ありきではなく、教育課程の編成権は学校にあることを踏まえ、学校独自の創意工夫したやり方を尊重してください。

2. 教職員の健康を守るために

- ①超過勤務縮減のための具体的な方策を示してください。
- ②消毒や感染予防、オンライン授業など過度な負担を教職員にかけないようにしてください。
- ③出勤できる教員が少ない場合、短縮授業を行うなどの学校の判断を尊重してください。
- ④就学援助手続きについて、教職員の事務作業軽減のため、書類の様式をデータ化して、学校へ通知してください。
- ⑤学期末や学年末の超繁忙期に、サーバーの停止がないように調整してください。

3. 保護者への負担を軽減するために

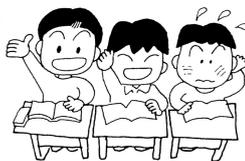
- ①昨年度と同様に、修学旅行などの校外学習のキャンセル料が発生した場合、保護者に負担させないよう市が責任をもつようにしてください。対象を企画料だけでなく、交通費や宿泊料なども含めてください。

教育講座

特別支援教育ってなに？

申し込みはこちらから

初めて特支学級担任になった人、
 特支学級を担ってきた人、
 特支学級に関わる人、みんなで話し合いませんか？
 「特別支援教育って何でしょう？」



■ 5月14日(土) 13:30~15:30

尼崎教育会館 (尼崎市西長洲町2-34-1)

■ 講師：中川純一さん (市内小学校支援担)

■ 主催：伊丹教職員組合・尼崎市教職員組合